

広島中央地域連携中枢都市圏ビジョン

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現～

平成30年3月

呉市

目 次

第1章 総論.....	1
1 ビジョン策定の趣旨	1
2 連携中枢都市圏及び市町の名称.....	1
3 計画期間.....	1
第2章 圏域の現状と課題	2
1 圏域を構成する市町の概要.....	2
2 主要指標.....	5
3 産業.....	8
4 都市機能.....	14
5 まとめ.....	21
第3章 圏域の中長期的な将来像.....	22
1 中長期的な将来像.....	22
2 中長期的な将来の人口目標.....	23
3 将来像を実現するための市町の役割.....	24
4 広島広域都市圏事業との連携・役割分担	26
5 施策体系図	27
第4章 将来像の実現に向けた具体的取組.....	29
1 圏域全体の経済成長のけん引	29
2 高次の都市機能の集積・強化	35
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	37
4 成果指標（KPI）	48
第5章 推進体制	49

第2章 圏域の現状と課題

1 圏域を構成する市町の概要

広島中央地域は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、風光明媚な瀬戸内の自然と温暖な気候に恵まれています。こうした自然の恵みを享受し、むき身生産量全国第1位のかきを始め、島しょ部の特産であるかんきつ類、良質な天然水を利用した地酒など数多くの特産物を有しています。また、造船、鉄鋼、自動車、電気機械などに代表されるものづくり産業や学術研究機関の集積、文化と歴史が漂う町並みや建造物、伝統工芸品である筆など、全国に誇れる魅力的な地域資源を有しています。

(1) 呉市

呉市は、海軍工廠^{しゅうふ}とともに発展した歴史的背景から造船、鉄鋼、機械金属などのものづくり産業が集積するとともに、水道施設や港湾施設、病院などの都市基盤が充実しています。島しょ部では美しい瀬戸内海を背景とした自然や歴史、文化、地域産業など特色ある多くの地域資源を有し、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）とともに多くの観光客が訪れています。



呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）

呉市の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
228,552	97,412	352.80	33.6	647.8

資料：総務省「平成27年国勢調査」、国土地理院「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」（以下同様）

(2) 竹原市

竹原市は、広島空港や山陽自動車道などの高速交通体系に比較的近く、大都市圏へのアクセスに恵まれています。江戸時代に製塩業や酒づくりで栄えた屋敷や由緒ある寺院が美しい町並み保存地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。また、大久野島は野生のうさぎと触れ合える「うさぎの楽園」として知られています。



町並み保存地区

竹原市の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
26,426	11,204	118.23	38.2	223.5

(3) 東広島市

東広島市は、広島空港に近接し山陽自動車道のインターチェンジや新幹線東広島駅を有するなど交通基盤が充実しています。大学を中心とした学術研究機関が集積しており、企業の立地も進んでいます。また、西条酒蔵通りは数多くの蔵元が並び、れんが造りの煙突や白壁の酒蔵など酒都の風情が漂う町並みとなっています。



西条酒蔵通り

東広島市の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
192,907	84,847	635.16	22.3	303.7

(4) 江田島市

江田島市は、広島湾の中心に位置し、江田島・能美島とその周辺に点在する島々で構成されています。航路で広島市・呉市と、音戸大橋、早瀬大橋の両架橋により本土と連絡しており、旧海軍兵学校には多くの方が訪れています。温暖な気候と穏やかな海を生かしたかんきつ類、花き栽培やかき養殖が盛んであり、また、市の新しい特産品として「江田島オリーブ」のブランド化を目指しています。



海上自衛隊第1術科学校(旧海軍兵学校)

江田島市の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
24,339	10,741	100.70	41.0	241.7

(5) 海田町

海田町は、江戸時代は西国街道の宿場町として栄え、現在も広島都市圏東部地域の交通の要衝としての役割を担っています。陸上自衛隊や多くのマツダ関連工場、商業施設などが立地している一方、瀬野川や日浦山などの豊かな自然があり、都市と自然が共存した「暮らしやすいまち」です。



旧千葉家住宅(西国街道)

海田町の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
28,667	12,246	13.79	22.9	2,078.8

(6) 熊野町

熊野町は、広島市・呉市・東広島市のほぼ中央にある高原盆地に位置し、江戸時代から伝わる毛筆製造技術により、180年余りの歴史をもつ熊野筆の製造を産業の中心に据え、「筆の都」として発展してきました。「筆まつり」を始めとしたイベントの開催や筆にまつわるものを収集・展示した「筆の里工房」等により、筆文化のすばらしさを全国に発信しています。



筆の里工房「世界一の大筆」

熊野町の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
23,755	9,430	33.76	33.2	703.6

(7) 坂町

坂町は、JR呉線、広島呉道路、海田大橋といった交通基盤が整っており、広島市、呉市へ約20分で連絡できます。平成ヶ浜地区及びその周辺地区は、住宅、商業、教育、行政など多様な都市機能が集積しており、広島都市圏東部の新拠点を形成しています。また、瀬戸内海に面した豊かな自然環境に恵まれており、「ベイサイドビーチ坂」は1,200mの砂浜を有する西日本最大級の人工海浜です。



ベイサイドビーチ坂

坂町の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
12,747	5,132	15.69	29.1	812.4

(8) 大崎上島町

大崎上島町は、広島県内で唯一離島のみで構成される地方公共団体であり、本土の竹原・安芸津港と高速船、フェリーで結ばれています。瀬戸内海の温暖少雨な気候で年間を通して過ごしやすく、レモン、ブルーベリーなどいろいろな農産物が生産されています。また、神峰山山頂からの展望は瀬戸内でも有数の風光明媚な景勝地として知られています。



神峰山からの眺望

大崎上島町の人口等

人口(人)	世帯数(世帯)	面積(Km ²)	高齢化率(%)	人口密度(人/Km ²)
7,992	3,898	43.11	44.9	185.4

2 主要指標

(1) 通勤通学割合

◇ 呉市への通勤通学割合は、江田島市、熊野町及び坂町が10%を超えています。東広島市は、呉市への通勤通学者数が約4,600人と最も多くなっています。

図表 2-1 呉市への通勤通学割合

(単位:人, %)

市町名	常住する 就業・通学者数 (A)	呉市への 就業・通学者数 (B)	呉市への 通勤通学割合 (C=B/A×100)
竹原市	11,413	383	3.4
東広島市	96,986	4,599	4.7
江田島市	10,720	1,326	12.4
海田町	14,683	614	4.2
熊野町	11,153	1,583	14.2
坂町	5,996	626	10.4
大崎上島町	3,494	49	1.4

注)「常住する就業・通学者数」は、自宅において従業する者の数を除く。

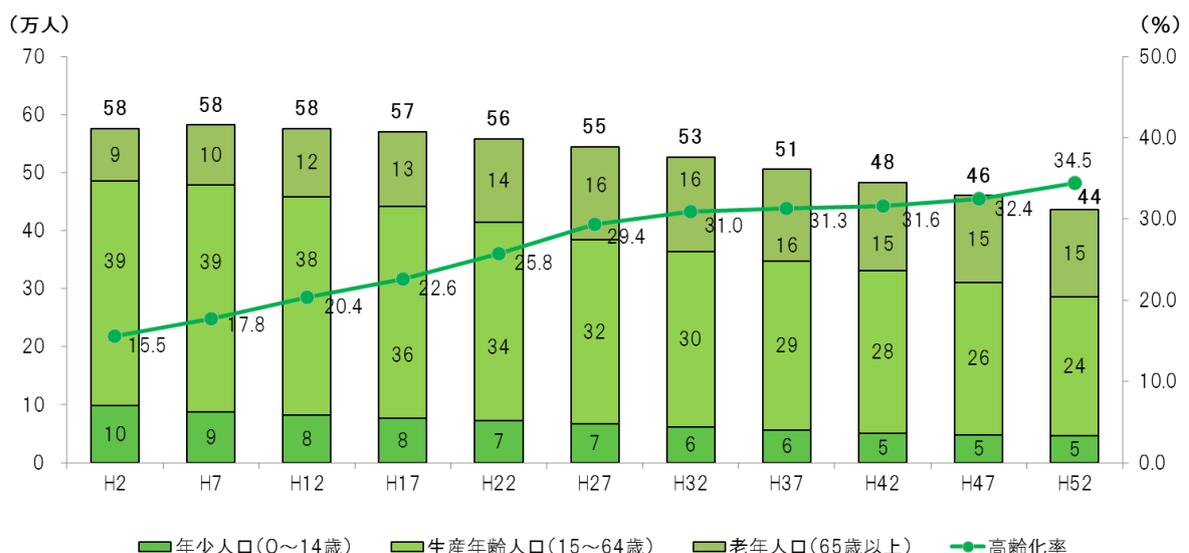
資料：総務省「平成27年国勢調査」

(2) 人口と高齢化率の推移

◇ 圏域の人口は平成27年時点で約55万人であり、今後減少傾向が続き平成52年には約44万人にまで減少すると推計されています。年齢階層別では、生産年齢人口(15~64歳)の減少が顕著となっています。

◇ 圏域の高齢化率は平成27年時点で29.4%であり、平成52年には34.5%にまで上昇すると推計されています。

図表 2-2 圏域の人口・高齢化率の推移



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
(平成25年3月推計)

図表 2-3 将来人口推計（構成市町別）

(単位:人)

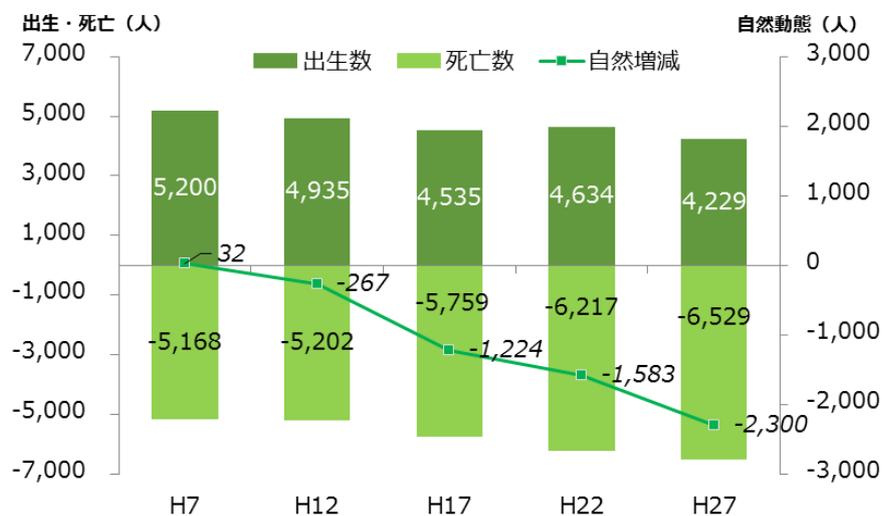
市町名	平成22年	将来推計人口					
		平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
呉市	239,765	227,459	215,077	201,752	188,206	174,794	161,954
竹原市	28,564	26,687	24,810	22,847	20,890	18,969	17,109
東広島市	188,161	193,051	193,972	193,755	192,593	190,147	186,490
江田島市	27,023	24,395	22,129	19,860	17,715	15,681	13,816
海田町	28,396	27,854	27,221	26,363	25,370	24,274	23,116
熊野町	24,532	23,818	22,944	21,789	20,433	19,001	17,651
坂町	13,262	13,249	13,126	12,922	12,681	12,412	12,135
大崎上島町	8,444	7,554	6,801	6,100	5,457	4,874	4,378
圏域全体	558,147	544,067	526,080	505,388	483,345	460,152	436,649

資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 25 年 3 月推計）

(3) 人口動態（自然増減・社会増減）

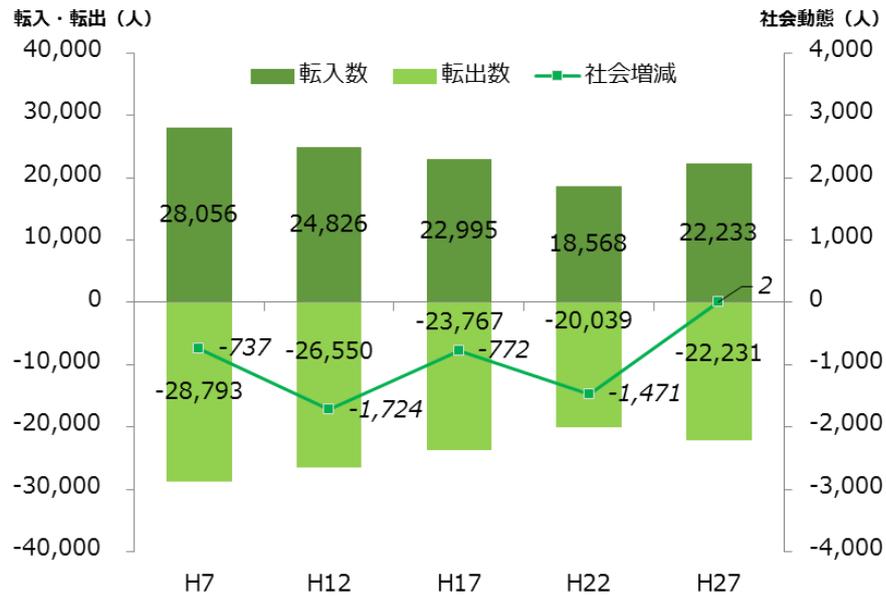
◇ 圏域の人口動態のうち自然増減は、平成 12 年度以降、出生数の減少による自然減の状態が続いています。また、社会増減は、就職や結婚を機とする転出の増加により、近年、社会減の状態が続いています。

図表 2-4 人口動態（自然増減）の推移



資料：RESAS（内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）及び経済産業省提供、住民基本台帳）

図表 2-5 人口動態（社会増減）の推移



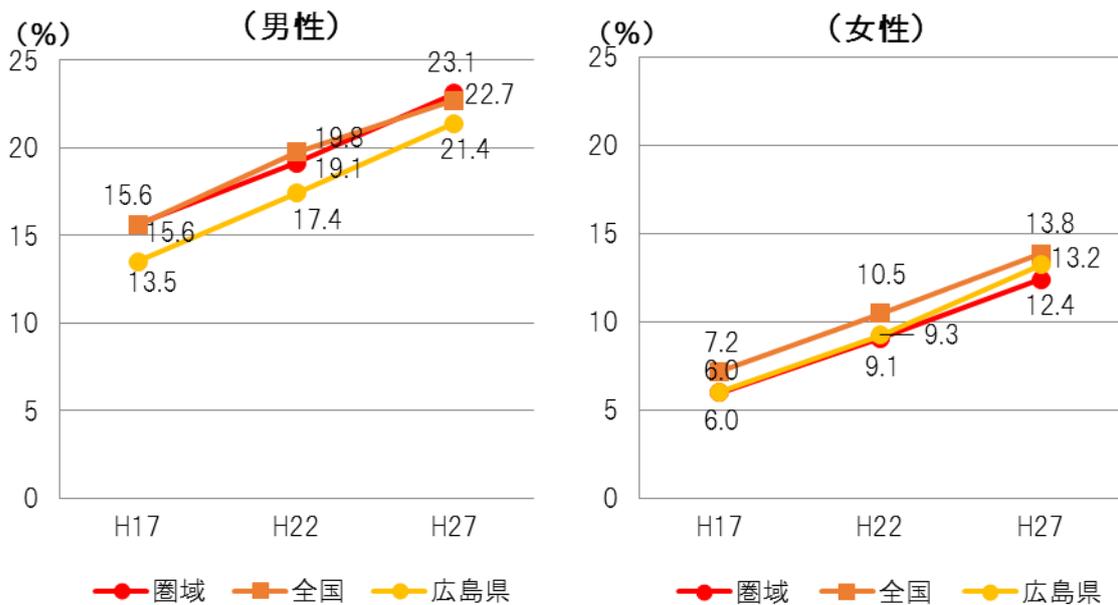
注) 転入数, 転出数には, 圏域内市町間移動を含む。

資料: RESAS (内閣官房 (まち・ひと・しごと創生本部事務局) 及び経済産業省提供, 住民基本台帳)

(4) 生涯未婚率

◇ 圏域の生涯未婚率は年々上昇の傾向にあり, 平成 27 年時点で男性 23.1%, 女性 12.4%となっています。こうした生涯未婚率の上昇が出生数減少の要因の一つと考えられます。

図表 2-6 生涯未婚率の推移



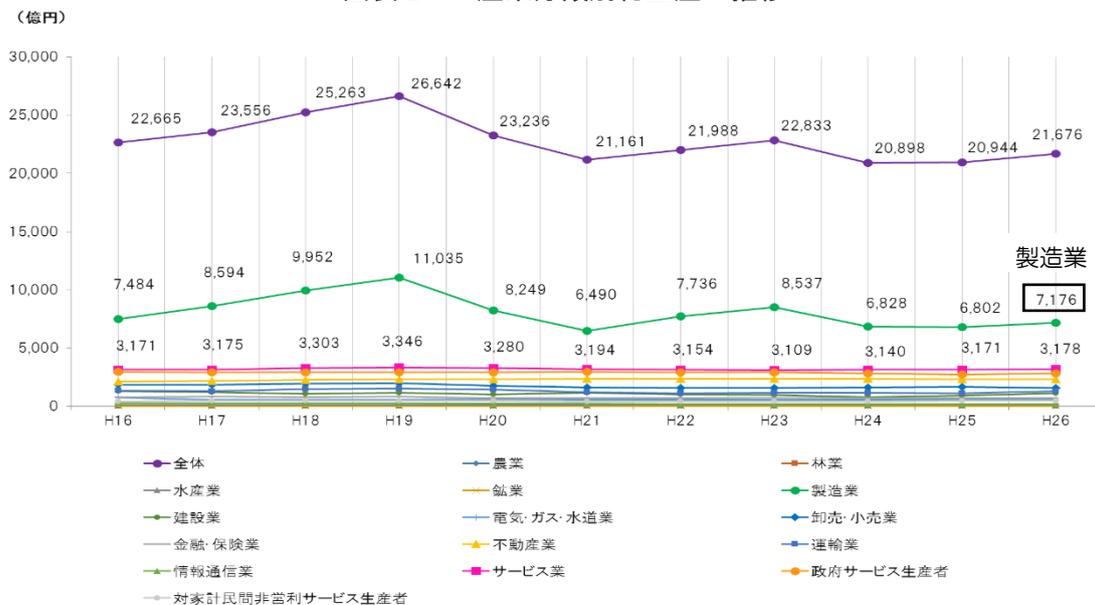
資料: 総務省「国勢調査」

3 産業

(1) 産業分類別総生産額

- ◇ 圏域の総生産額は、平成 19 年をピークとし、直近 5 年間はおおむね横ばいで推移しています。
- ◇ 平成 26 年の産業分類別総生産額では、製造業が 7,176 億円で全体の約 33% を占め、圏域の主要な産業となっています。

図表 2-7 産業分類別総生産の推移



資料：広島県「平成 26 年度広島県市町民経済計算」

(2) 産業別事業所数・従業者数

- ◇ 圏域の産業別事業所数は、第 3 次産業の割合が非常に高く全体の 79.5% を占めています。
- ◇ 構成市町別では、第 1 次産業の割合は江田島市が最も高く、第 2 次産業は熊野町、第 3 次産業は海田町・坂町の割合が高くなっています。なお、産業別従業者数についてもおおむね同様の傾向ですが、海田町の第 3 次産業の従業者数の割合のみ事業所数の割合と比べるとかなり低くなっています。

図表 2-8 産業別事業所数

(単位:事業所)

市町名	第 1 次産業		第 2 次産業		第 3 次産業		合計	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
呉市	37	0.4%	1,942	19.2%	8,148	80.4%	10,127	100%
竹原市	9	0.6%	284	20.0%	1,130	79.4%	1,423	100%
東広島市	52	0.7%	1,453	20.5%	5,581	78.8%	7,086	100%
江田島市	36	2.8%	269	21.0%	974	76.2%	1,279	100%
海田町	-	-	183	15.4%	1,006	84.6%	1,189	100%
熊野町	-	-	231	30.0%	539	70.0%	770	100%
坂町	2	0.4%	77	16.3%	393	83.3%	472	100%
大崎上島町	6	1.0%	122	20.0%	482	79.0%	610	100%
圏域全体	142	0.6%	4,561	19.9%	18,253	79.5%	22,956	100%

資料：経済産業省「平成 24 年経済センサス-活動調査」

図表 2-9 産業別従業者数

(単位:人)

市町名	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	従業者数	構成比	従業者数	構成比
呉市	426	0.5%	28,674	30.8%	63,897	68.7%	92,997	100%
竹原市	131	1.2%	3,054	27.9%	7,769	70.9%	10,954	100%
東広島市	662	0.8%	26,364	30.3%	59,824	68.9%	86,850	100%
江田島市	418	5.2%	2,160	26.8%	5,488	68.0%	8,066	100%
海田町	-	-	4,647	35.5%	8,451	64.5%	13,098	100%
熊野町	-	-	2,416	41.0%	3,481	59.0%	5,897	100%
坂町	28	0.4%	1,229	15.9%	6,470	83.7%	7,727	100%
大崎上島町	82	2.3%	1,099	31.3%	2,334	66.4%	3,515	100%
圏域全体	1,747	0.8%	69,643	30.4%	157,714	68.8%	229,104	100%

資料：経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」

(3) 製造業

- ◇ 製造業の事業所数及び製造品出荷額等を構成市町別にみると、呉市と東広島市がいずれも約4割であり、2市で圏域内の約8割を占めています。
- ◇ 圏域全体では、事業所数、従業者数及び製造品出荷額等がそれぞれ広島県の22.4%、23.2%及び24.1%を占めています。

図表 2-10 製造業の事業所数・従業者数等

(単位:事業所, 人, 億円)

市町名	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	事業所数	構成比	従業者数	構成比	製造品出荷額等	構成比
呉市	429	37.6%	20,011	41.1%	10,295	44.6%
竹原市	52	4.6%	1,717	3.5%	950	4.1%
東広島市	432	37.9%	20,057	41.2%	9,075	39.4%
江田島市	45	3.9%	968	2.0%	159	0.7%
海田町	54	4.7%	3,065	6.3%	914	4.0%
熊野町	93	8.1%	1,981	4.1%	247	1.1%
坂町	20	1.8%	456	0.9%	779	3.4%
大崎上島町	16	1.4%	457	0.9%	636	2.7%
圏域全体	1,141	100%	48,712	100%	23,055	100%

種別	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
広島県	5,086	209,515	95,685
圏域全体 (構成比)	1,141 (22.4%)	48,712 (23.2%)	23,055 (24.1%)

資料：経済産業省「平成26年工業統計表(市区町村編)」

(4) 農業

- ◇ 圏域の農業算出額を構成市町別にみると、東広島市が 46.6%、呉市が 27.6%、大崎上島町が 8.7%となっています。圏域の農産物は、果実、米が上位であり、この2種で約 6 割を占めています。

図表 2-11 農業算出額

(単位:千万円)

市町名	農業算出額		主な農産物 (上位2種)
		構成比	
呉市	423	27.6%	果実(273), 野菜(92)
竹原市	126	8.2%	肉用牛(50), 果実(25)
東広島市	716	46.6%	米(342), 野菜(165)
江田島市	110	7.2%	果実(50), 野菜(31)
海田町	2	0.1%	米(1), 野菜(1)
熊野町	25	1.6%	米(11), 野菜(9)
坂町	0	0.0%	米(0), 麦類(0)
大崎上島町	133	8.7%	果実(114), 野菜(10)
圏域合計	1,535	100%	果実(511), 米(396)

資料：農林水産省「平成 27 年市町村別農業産出額（推計）」

(5) 水産業

- ◇ 圏域の漁獲量を構成市町別にみると、江田島市 74.9%、呉市 23.0%と 2 市で約 98%を占めており、カタクチイワシ、シラス、タチウオ漁等が盛んに行われています。
- ◇ 圏域ではかきの養殖が盛んに行われており、かき類（殻付き）収獲量では、呉市が全国 1 位、江田島市が同 2 位であるなど、圏域全体で全国収獲量の約 3 分の 1 を占めています。

図表 2-12 漁獲量等

(単位:t)

市町名	漁獲量		かき類(殻付き)収獲量	
		構成比		構成比
呉市	2,788	23.0%	25,835	46.5%
竹原市	31	0.2%	×	-
東広島市	34	0.3%	3,945	7.1%
江田島市	9,078	74.9%	25,822	46.4%
海田町	0	0.0%	×	-
熊野町	-	-	-	-
坂町	166	1.4%	×	-
大崎上島町	26	0.2%	×	-
圏域計	12,123	100%	55,602	100%

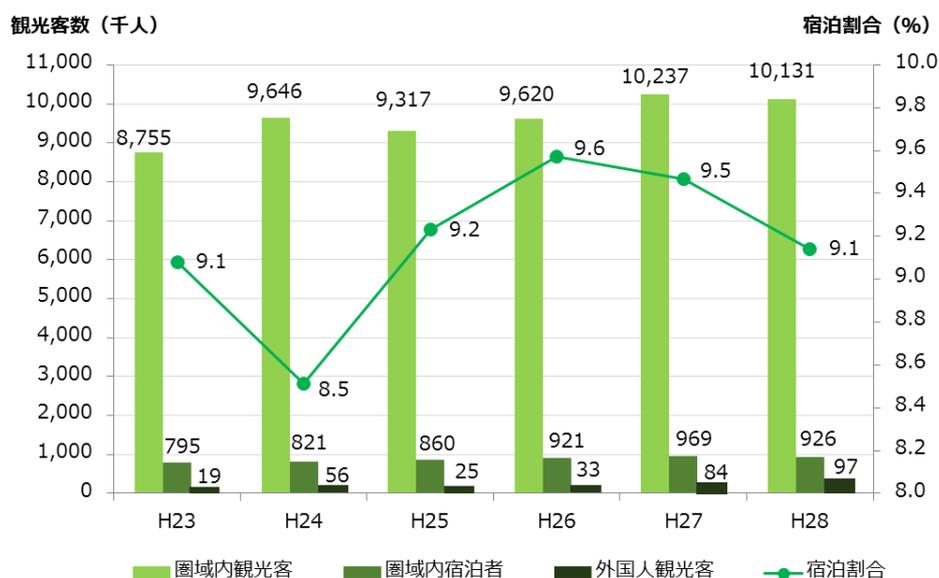
注)「×」は秘匿を示す。

資料：農林水産省「平成 27 年海面漁業生産統計調査」

(6) 観光客数

- ◇ 圏域を訪れる観光客数は近年微増の傾向であり、平成 27 年には年間 1,000 万人を突破しています。
- ◇ 圏域内宿泊者数は微増傾向にあるものの、観光客数に占める宿泊者の割合は 9%前後で伸び悩んでいます。

図表 2-13 観光客数（宿泊者・外国人観光客）の推移



資料：広島県「平成 28 年広島県観光客数の動向」

- ◇ 平成 28 年の圏域の観光客数の内訳をみると、圏域を訪れる観光客のうち県外観光客の割合は全体の 34.1%であり、広島県の 43.7%を 9.6ポイント下回っています。
- ◇ また、外国人観光客の割合は 1.0%であり、広島県の 3.0%を 2.0ポイント下回っています。

図表 2-14 観光客数（平成 28 年）

（単位：千人、円）

市町名	総観光客数						一人当たり観光消費額
	県内観光客			県外観光客			
		自市町内	その他市町		外国人観光客		
呉市	4,597	2,016	1,234	782	2,581	64	6,162
竹原市	1,266	685	294	391	581	19	2,401
東広島市	2,840	2,702	1,812	890	138	10	3,482
江田島市	539	443	185	258	96	2	1,417
海田町	265	265	176	89	0	-	-
熊野町	181	161	68	93	20	1	1,691
坂町	364	364	172	192	0	0	1,173
大崎上島町	79	41	13	28	38	1	8,405
圏域計	10,131 (100%)	6,677 (65.9%)	3,954 (39.0%)	2,723 (26.9%)	3,454 (34.1%)	97 (1.0%)	4,285

種別	総観光客数						一人当たり観光消費額
	県内観光客			県外観光客			
		自市町内	その他市町		外国人観光客		
広島県 (構成比)	67,773 (100%)	38,155 (56.3%)	18,969 (28.0%)	19,186 (28.3%)	29,618 (43.7%)	2,017 (3.0%)	5,994

資料：広島県「平成 28 年広島県観光客数の動向」

(7) 主な観光施設等

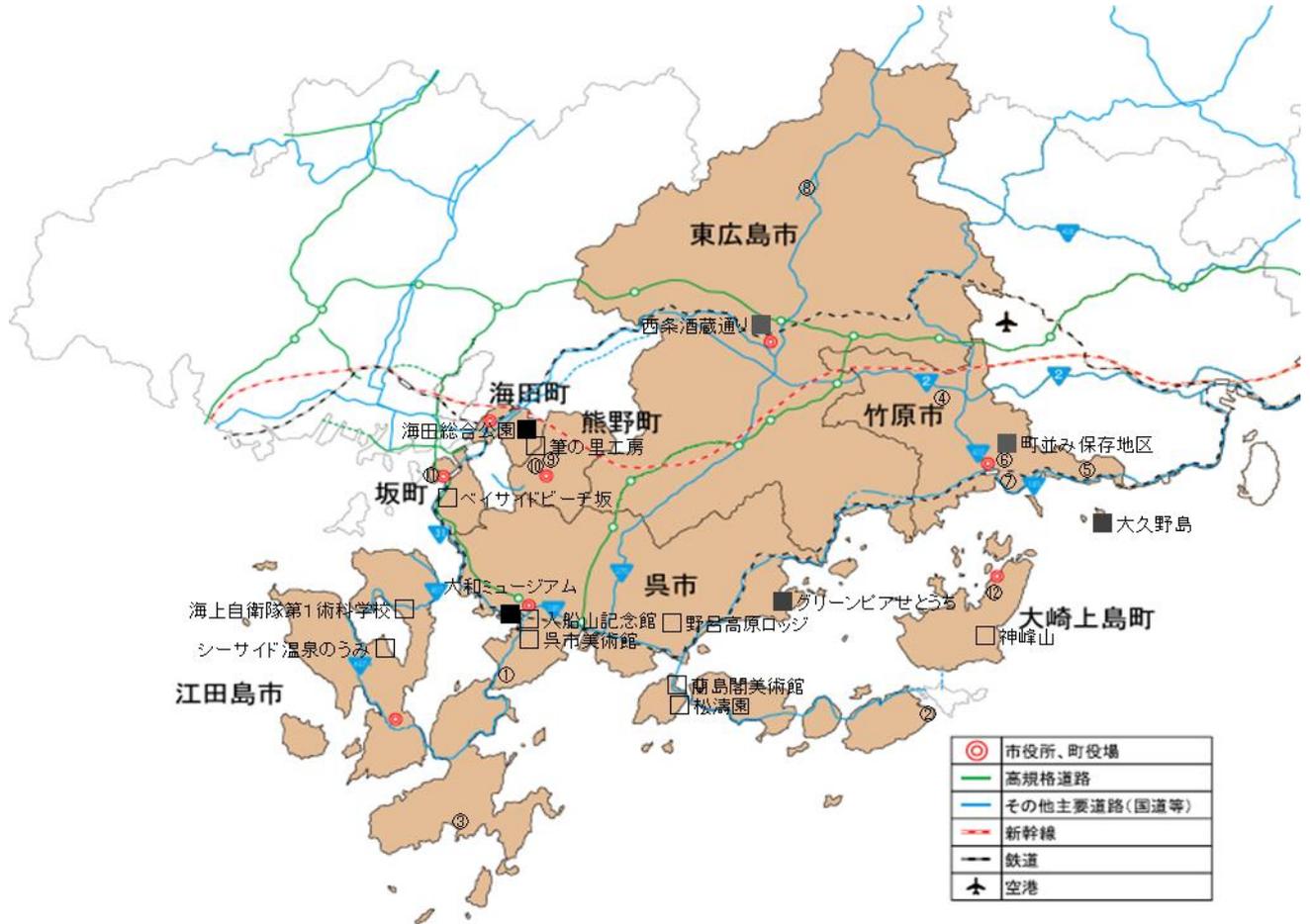
◇ 圏域の観光施設の中では、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、大久野島が高い集客力を有しています。

図表 2-15 主な観光施設等の観光客数（平成 28 年）

		(単位:千人)
市町名	施設名	観光客数
呉市	呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)	944
	呉市立美術館	49
	呉市入船山記念館	21
	蘭島閣美術館	11
	松濤園	15
	国民宿舎野呂高原ロッジ	35
	グリーンピアせとうち	120
	大久野島	377
竹原市	町並み保存地区	374
	西条酒蔵通り	303
東広島市	海上自衛隊第1術科学校(旧海軍兵学校)	58
江田島市	シーサイド温泉のうみ	96
	海田総合公園	214
熊野町	筆の里工房	54
坂町	ベイサイドビーチ坂	48
大崎上島町	神峰山	4

資料：広島県「平成 28 年広島県観光客数の動向」及び各市町調べ

図表 2-16 主要観光施設の分布図（平成 28 年）



■	観光客数50万人以上
■	〃 10万人以上
□	〃 10万人未満

①	音戸の瀬戸公園	⑦	たけはら海の駅
②	御手洗町並み保存地区	⑧	道の駅湖畔の里福富
③	桂浜	⑨	榊山神社 熊野本宮社
④	湯坂温泉郷	⑩	筆の町交流館
⑤	黒滝山	⑪	坂町横浜公園
⑥	道の駅たけはら	⑫	海と島の歴史資料館

注) 参照している資料に観光客数の数値がない観光施設等を示す。
資料：広島県「平成 28 年広島県観光客数の動向」及び各市町調べ

4 都市機能

(1) 高等教育機関

◇ 圏域には、呉市及び東広島市を中心として四つの大学と二つの高等専門学校が立地するなど、高等教育機関が集積しています。

図表 2-17 高等教育機関一覧

大学・高等専門学校			大学院・専攻科		
学校名	学部・学科	学生数	学校名	学科	学生数
広島文化学園大学（呉阿賀キャンパス）		565	広島文化学園大学（呉阿賀キャンパス）		19
	看護学部	565		看護学研究科	19
広島文化学園大学（広島坂キャンパス）		408	広島文化学園大学（呉郷原キャンパス）		34
	社会情報学部	408		社会情報研究科	34
広島国際大学（呉キャンパス）		1,499	広島国際大学（呉キャンパス）		27
	看護学部	508		薬学研究科	8
	薬学部	794		看護学研究科	8
	医療栄養学部	184		工学研究科	2
広島国際大学（東広島キャンパス）		2,200	広島国際大学（東広島キャンパス）		51
	保健医療学部	961		助産学専攻科	9
	総合リハビリテーション学部	709			
	医療福祉学部	355		広島国際大学（東広島キャンパス）	51
広島大学（東広島キャンパス）		8,367	広島大学（東広島キャンパス）		3,266
	心理学部	175		総合科学研究科	250
	総合科学部	584		文学研究科	267
	文学部	649		教育学研究科	602
	教育学部	2,101		社会科学研究科法政システム専攻・社会経済システム専攻	122
	法学部（昼間コース）	625		理学研究科	428
	経済学部（昼間コース）	675		先端物質科学研究科	204
	理学部	1,055		工学研究科	823
	工学部	2,230		生物圏科学研究科	289
生物生産学部	448	国際協力研究科	281		
近畿大学（広島キャンパス）		2,077	近畿大学（広島キャンパス）		73
	工学部	2,077		システム工学研究科	73
呉工業高等専門学校		848	呉工業高等専門学校		49
	機械工学科	207		プロジェクトデザイン工学専攻	23
	電気情報工学科	211		機械電気工学専攻	15
	環境都市工学科	216		建設工学専攻	11
広島商船高等専門学校		718	広島商船高等専門学校		22
	建築学科	214		海事システム工学専攻	9
	商船学科	269		産業システム工学専攻	13
	電子制御工学科	228			
広島商船高等専門学校		718	広島商船高等専門学校		22
	流通情報工学科	221			
合計		16,682	合計		3,541

資料：各大学等ホームページ調べ（平成 28 年度）

(2) 産業支援施設等

◇ 圏域には、呉市及び東広島市を中心として数多くの産業支援施設等が立地しています。

図表 2-18 産業支援施設等一覧

分類	施設名
試験研究機関	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県立総合技術研究所西部工業技術センター(呉市) ・広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター(呉市) ・広島県立総合技術研究所西部工業技術センター生産技術アカデミー(東広島市) ・広島県立総合技術研究所農業技術センター(東広島市) ・広島県立総合技術研究所農業技術センター果樹研究部(東広島市) ・国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センター(東広島市) ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門ブドウ・カキ研究拠点(東広島市) ・独立行政法人酒類総合研究所(東広島市)
公共職業能力開発施設	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県立呉高等技術専門学校(呉市) ・東広島地域職業訓練センター(東広島市)
産業振興財団等	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人くれ産業振興センター(呉市)
中小企業・ベンチャー支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・呉地域中小企業支援センター(呉市) ・広島起業化センター「クリエイトコア」(東広島市) ・東広島市新産業創造センター(東広島市)
政府系金融機関	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政策金融公庫呉支店(呉市)
大学等産学連携窓口組織	<ul style="list-style-type: none"> ・呉工業高等専門学校協働研究センター(呉市) ・広島大学産学・地域連携センターインキュベーションオフィス(東広島市) ・近畿大学工学部次世代基盤技術研究所(東広島市) ・広島国際大学研究支援センター(東広島市) ・広島商船高等専門学校地域交流センター(大崎上島町)

資料：各市町調べ(平成29年5月現在)

(3) 医療施設

◇ 圏域には、病院・一般診療所合わせて534施設があり、このうち約半数が呉市に立地しています。

図表 2-19 医療施設の立地状況

市町名	病院施設数	一般診療所数	人口千人当たり医療施設数	(単位:施設, 人)	
				医師数	人口10万人当たり医師数
呉市	26	238	1.2	730	319.4
竹原市	4	25	1.1	51	193.0
東広島市	16	135	0.8	373	193.4
江田島市	4	18	0.9	37	152.0
海田町	2	29	1.1	35	122.1
熊野町	-	17	0.7	18	75.8
坂町	1	10	0.9	35	274.6
大崎上島町	-	9	1.1	8	100.1
圏域計	53	481	1.0	1,287	236.0

注) 病院施設数及び一般診療所数、医師数は平成28年を示す。人口は総務省「平成27年国勢調査」に基づく。

資料：厚生労働省「平成28年医療施設(静態・動態)調査」
厚生労働省「平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査」

◇ 圏域の高度医療施設は、呉市に3施設、東広島市に1施設が立地しています。

図表 2-20 高度医療施設の立地状況

二次保健医療圏	医療機関	救急医療 (△は救命救急医療に対応)	地域周産期母子医療センター	がん診療連携拠点病院 (県指定含む。)	災害拠点病院
呉	呉医療センター	○	○	○	○
	呉共済病院	△		○	○
	中国労災病院	△	○	○	○
広島中央	東広島医療センター	△	○	○	○

注) 平成 24 年 4 月 1 日現在を示す。

二次保健医療圏の圏域内市町は、「呉」は呉市、江田島市、「広島中央」は竹原市、東広島市、大崎上島町である。

資料：広島県保健医療計画（第6次）

図表 2-21 圏域の救急医療体制

市町名	初期救急医療機関 休日夜間急患センター	二次救急医療機関 病院群輪番制参加病院
呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市医師会休日急患センター ・呉市歯科医師会呉口腔保健センター ・呉市医師会内科夜間救急センター ・呉市医師会小児夜間救急センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国労災病院 ・呉共済病院 ・済生会呉病院 (※呉医療センター)
竹原市	<ul style="list-style-type: none"> ・竹原市休日診療所 	<ul style="list-style-type: none"> ・安田病院 ・馬場病院
東広島市	<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市休日診療所 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立安芸津病院 ・東広島医療センター ・西条中央病院 ・本永病院 ・井野口病院 ・八本松病院

注) 三次救急医療機関である呉医療センターも「診療科目別二次医療体制」を組み、二次救急医療の輪番を担っている。

資料：各市町調べ（平成 29 年 5 月末現在）

◇ 呉市の4病院は、圏域市町からの救急患者を受け入れており、圏域の救急医療機能として重要な役割を果たしています。

図表 2-22 救急患者受入数（呉市内の主な病院）

病院名	(単位:人)								
	呉市	竹原市	東広島市	江田島市	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	計
呉医療センター	5,178	12	173	407	6	139	31	6	5,952
呉共済病院	5,381	6	99	270	13	330	30	1	6,130
中国労災病院	6,072	57	623	100	12	75	9	26	6,974
済生会呉病院	1,034	0	7	22	1	25	3	0	1,092
計	17,665	75	902	799	32	569	73	33	20,148

資料：呉市調べ（平成 28 年度）

(4) 福祉施設

◇ 圏域の介護施設 80 施設のうち半数が呉市に立地しています。また、障害者支援施設は 26 施設のうち約 4 割が東広島市に立地しています。

図表 2-23 福祉施設の立地状況

市町名	介護施設数 (施設)	介護施設定員 数(人)	常勤換算従事 者数(人)	障害者支援施設 数(施設)	障害者支援施設 等在所者数(人)
呉市	40	2,527	1,720	6	136
竹原市	7	440	250	6	182
東広島市	19	1,225	782	11	625
江田島市	4	276	187	-	-
海田町	3	124	96	2	42
熊野町	2	130	74	-	-
坂町	2	134	87	1	-
大崎上島町	3	150	75	-	-
圏域計	80	5,006	3,271	26	985

注)「介護施設」は介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の合計

資料：厚生労働省「平成 28 年介護サービス施設・事業所調査」,「平成 28 年社会福祉施設等調査」

(5) 商業施設等

◇ 圏域には、店舗面積が 10,000 m²を超えるショッピングセンターが 7 施設、道の駅が 2 施設あり、このうち 5 施設が東広島市に立地しています。

図表 2-24 商業施設等の立地状況

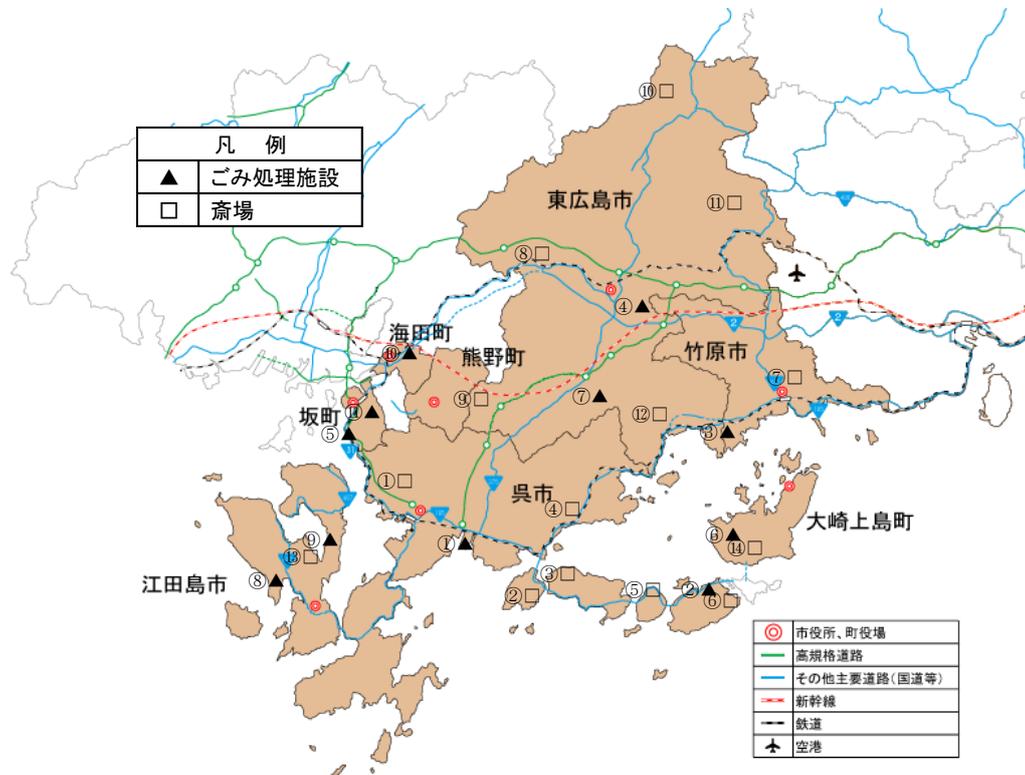
種別	市町名	施設名
主要ショッピングセンター (店舗面積10,000 m ² 以上)	呉市	ゆめタウン呉
	竹原市	パルティフジ竹原
	東広島市	フジグラン東広島, ゆめタウン東広島, ゆめタウン学園店, イオン高屋ショッピングセンター
	坂町	フジグラン安芸
道の駅	竹原市	たけはら
	東広島市	湖畔の里福富

資料：一般社団法人日本ショッピングセンター協会「都道府県別・政令指定都市別・市町村別 SC 一覧」
(平成 27 年 12 月末現在)

(6) 斎場、ごみ処理施設等

◇ 圏域には、斎場が 14 施設立地していますが、海田町、熊野町及び坂町にはなく周辺市町の斎場を利用してはいます。また、ごみ処理施設は 11 施設が立地しています。

図表 2-25 斎場・ごみ処理施設の分布図



【斎場】	
市町名	斎場名
呉市	①呉市斎場
	②下蒲刈火葬場
	③蒲刈火葬場
	④東部火葬場
	⑤極楽苑
	⑥豊火葬場
竹原市	⑦竹原市斎場
東広島市	⑧ひがしひろしま聖苑
	⑨黒瀬斎場
	⑩豊浄苑
	⑪東広島市河内斎場
江田島市	⑫安芸津斎場
江田島市	⑬江田島市葬斎センター
大崎上島町	⑭大崎上島町火葬場 大峰苑

資料：「斎場図鑑」

【焼却施設】	
市町名	施設名
呉市	①クリーンセンターくれ(第3工場)
竹原市	②芸予環境衛生センター(ごみ処理施設)
東広島市	③竹原安芸津環境センター
坂町	④賀茂環境衛生センター(1号炉, 2号炉)
大崎上島町	④賀茂環境衛生センター(3号炉)
坂町	⑤安芸クリーンセンター
大崎上島町	⑥大崎上島環境センター

【資源化等を行う施設】	
市町名	施設名
呉市	①呉市資源化施設
東広島市	②芸予環境衛生センター
東広島市	⑦賀茂環境センター(ペットボトル等処理施設)
江田島市	⑧江田島市環境センター(ビン・缶)
江田島市	⑧江田島市環境センター(ペットボトル)
江田島市	⑨江田島市リレーセンター(可燃ごみ)
海田町	⑩海田町環境センター
坂町	⑪リサイクルセンター坂
大崎上島町	⑥大崎上島環境センター

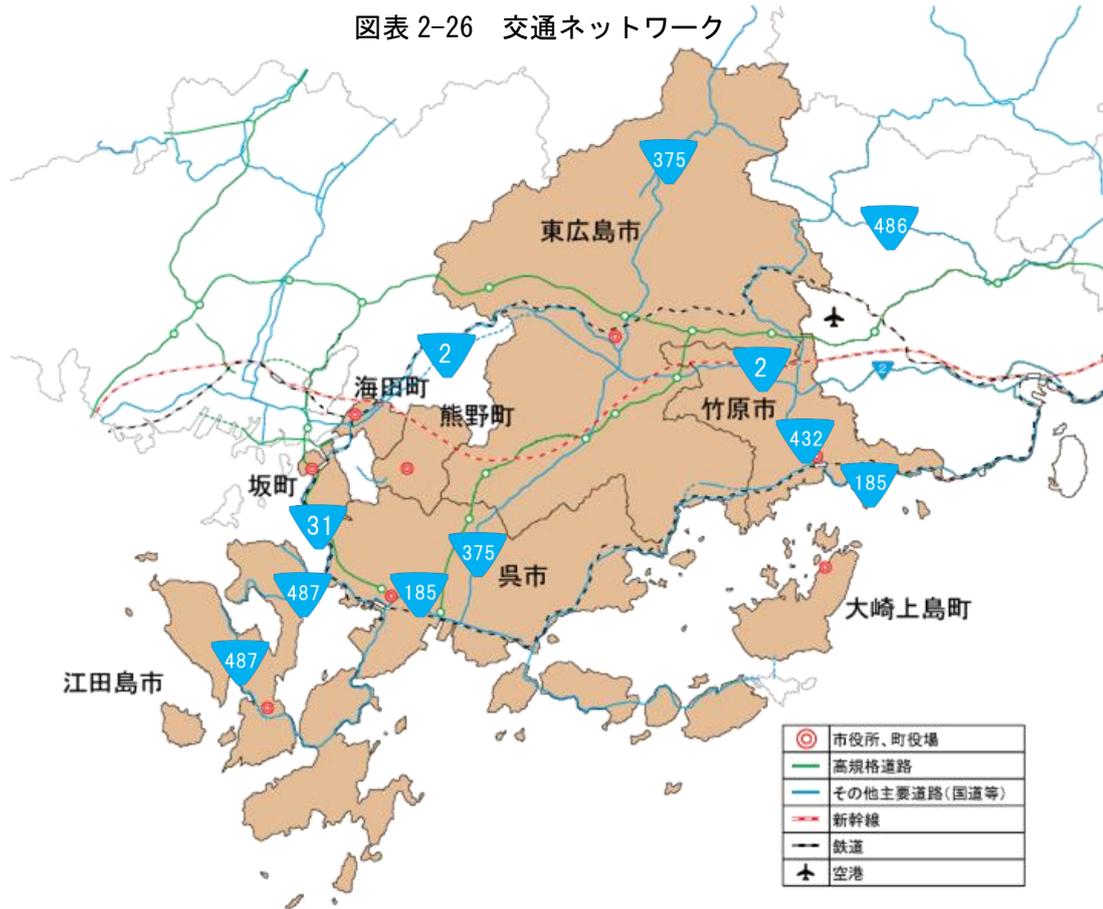
【粗大ごみ処理施設】	
市町名	施設名
呉市	①クリーンセンターくれ(ごみ破碎選別施設)
東広島市	⑦賀茂環境センター(粗大ごみ処理施設)
江田島市	⑧江田島市環境センター(粗大)
坂町	⑤安芸クリーンセンター

資料：広島県「平成27年度一般廃棄物の状況」ごみ処理施設等一覧

(7) 交通ネットワーク

- ◇ 圏域の道路ネットワークは、高規格幹線道路である山陽自動車道，東広島・呉自動車道を始め，広島呉道路（クリアライン），一般国道 2 号，31 号，185 号，375 号及び 487 号等で構成されています。
- ◇ 公共交通機関としては，軌道系の山陽新幹線，JR山陽本線及びJR呉線，高速バス路線のクリアライン（呉市～広島市），グリーンフェニックス（東広島市～広島市），かぐや姫号（竹原市～広島市）及び空港リムジンバス（呉市～広島空港，東広島市～広島空港）等があります。

図表 2-26 交通ネットワーク



- ◇ JR呉線の利用者数は近年減少傾向にあり，直近5年間では竹原駅が 11.7%，呉駅が 5.5%減少しています。

表 2-27 主なJR駅の乗車人員数

(単位:人/日)

駅名	H23	H24	H25	H26	H27	増減率
東広島(山陽新幹線)	1,116	1,128	1,150	1,169	1,226	9.9
西条(山陽本線)	9,371	9,562	9,897	9,710	10,083	7.6
海田市(呉線, 山陽本線)	9,019	9,174	9,234	9,172	9,560	6.0
竹原(呉線)	1,079	1,037	1,025	961	953	▲ 11.7
広(呉線)	3,801	3,774	3,832	3,734	3,888	2.3
呉(呉線)	12,285	12,311	11,935	11,479	11,608	▲ 5.5
坂(呉線)	3,236	3,285	3,290	3,189	3,199	▲ 1.2

注:「増減率」は，H27 年対 H23 年比である。

資料:広島県「統計年鑑」

◇ 航路は、圏域内を連絡する11航路と、圏域市町と圏域外を連絡する5航路が運航されています。江田島市と大崎上島町では、これらの航路が住民の日常生活を支える重要な生活交通となっています。

表 2-28 航路ネットワーク

(単位: 往復)

圏域市町間航路	運航主体	便数
① 呉⇄江田島(小用)	瀬戸内シーライン(株)	26
② 江田島(秋月)⇄呉	(有)バンカー・サプライ	5
③ 天応⇄江田島(切串)	さくら海運(株)	20
④ 安芸津⇄大崎上島(大西)	安芸津フェリー(株)	16
⑤ 竹原⇄大崎上島(白水・垂水)	大崎汽船(株)・山陽商船(株)	32
⑥ 竹原⇄大崎下島(大長)	しまなみ海運(株)	7
⑦ 大崎上島(明石)⇄大崎下島(小長)	しまなみ海運(株)	12
⑧ 大崎上島(白水)⇄契島	大崎上島町	7
⑨ 大崎下島(久比)⇄齋島	齋島汽船(株)	5
⑩ 大崎下島(久比)⇄三角島	齋島汽船(株)	5
⑪ 阿賀⇄情島	一真海運(株)	3

圏域市町⇄圏域外間航路	運航主体	便数
⑫ 江田島(切串)⇄広島	上村汽船(株)	22
⑬ 江田島(小用)⇄広島	瀬戸内シーライン(株)	20
⑭ 江田島(高田・中町)⇄広島	瀬戸内シーライン(株)	23
⑮ 江田島(三高)⇄広島	瀬戸内シーライン(株)	16
⑯ 忠海⇄大三島(盛)	大三島フェリー(株)	10

呉市・江田島市周辺



竹原市・大崎上島町周辺



資料：日本旅客船協会及び各市町調べ

5 まとめ

(1) 圏域の特長

広島中央地域は、次のような特長を有しています。

- ◇ 瀬戸内海と山々に囲まれた自然豊かな地域
- ◇ 造船、鉄鋼、自動車、電気機械などに代表されるものづくり産業の集積
- ◇ 国の研究機関、大学など学術研究機関の集積
- ◇ 海軍ゆかりの建造物、歴史・文化が漂う伝統的な町並み
- ◇ かき、かんきつ類、地酒、筆など魅力的な地域資源

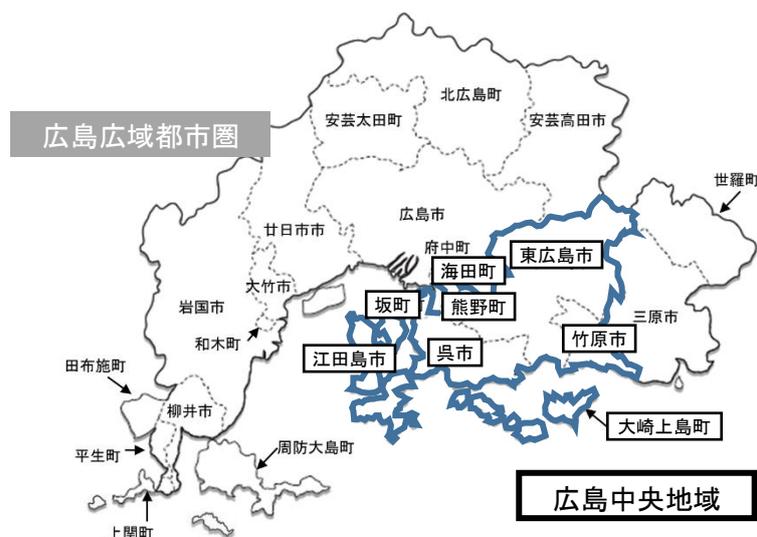
(2) 圏域の課題

広島中央地域は、次のような課題を有しています。

- ◇ 人口減少・少子高齢化対策
- ◇ ものづくり産業の集積を生かした産業の更なる活性化
- ◇ 新製品・新技術開発等への支援による新産業の育成
- ◇ 観光客の周遊の促進
- ◇ 外国人観光客の誘客、受入態勢の整備
- ◇ 救急医療等の維持・確保
- ◇ 持続可能な行政サービスの確保
- ◇ 交通ネットワーク機能の維持・強化

(3) 広島広域都市圏との重複

広島中央地域は、広島市を連携中枢都市とする広島広域都市圏^{注1}の区域に含まれています。このため、本圏域において取り組む施策は広島広域都市圏で取り組む施策と役割分担を図る必要があります。



注1) 広島広域都市圏は、広島市を中心都市として呉市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町及び山口県岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町の11市13町で構成する連携中枢都市圏であり、平成28年3月に広島市と各市町が連携協約を締結しています。

第3章 圏域の中長期的な将来像

1 中長期的な将来像

広島中央地域は、前述したように瀬戸内海と山々に囲まれた豊かな自然、造船、鉄鋼、自動車、電気機械などに代表されるものづくり産業の集積、国の研究機関、大学などの学術研究機関の集積、海軍ゆかりの建造物、歴史・文化が漂う伝統的な町並み、かき、かんきつ類、地酒、筆などの魅力的な特産品など、多くの特長を有しています。

一方で、人口減少・少子高齢化対策を始め、ものづくり産業の集積を生かした産業の更なる活性化、新製品・新技術開発等への支援による新産業の育成、圏域を訪れる観光客の周遊の促進、外国人観光客の誘客、受入態勢の整備、救急医療等の維持・確保、持続可能な行政サービスの確保、交通ネットワーク機能の維持・強化など多くの課題を有しています。

本圏域においては、先人が築いてきた歴史と技術を未来へつなぐため、圏域が有する多彩な魅力を近隣市町が共有し、更に磨きを掛けるとともに、市町が抱える様々な課題の解決に向けて連携して取り組んでいくことにより、人口減少・少子高齢社会にあっても活力ある地域経済を維持し、住民が「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現」を目指します。

本圏域の目指す将来像

「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現」
～歴史と技術を未来へつなぐ広島中央地域～



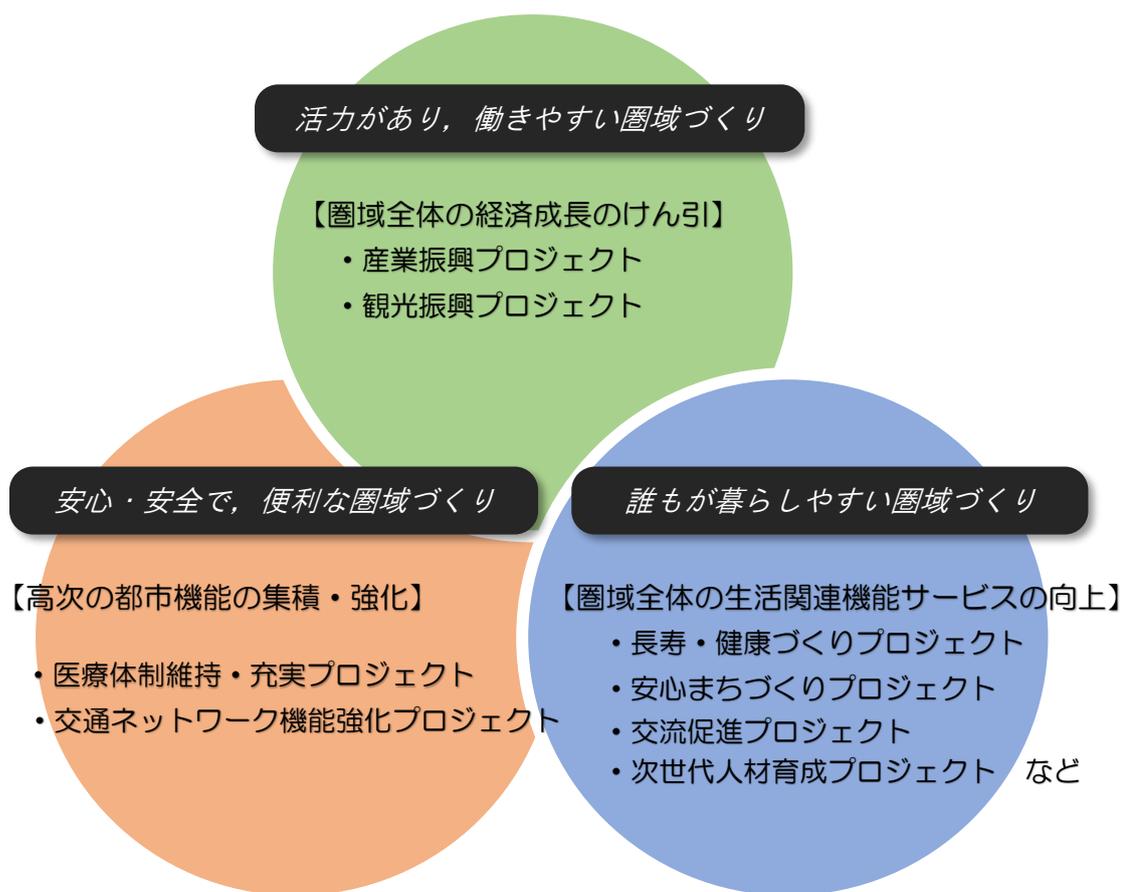
圏域の目指す将来像を実現していくための三つの圏域づくり

◆ **活力があり、働きやすい圏域づくり** ～圏域全体の経済成長のけん引～

◆ **安心・安全で、便利な圏域づくり** ～高次の都市機能の集積・強化～

◆ **誰もが暮らしやすい圏域づくり** ～圏域全体の生活関連機能サービスの向上～

圏域の市町が連携・協力をしながら圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上に資する施策に取り組んでいくことにより、三つの圏域づくりを推進します。



2 中長期的な将来の人口目標

圏域の中長期的な将来の人口は、市町それぞれが人口ビジョンに掲げる目標値等を基本とし、その合計人口を圏域の将来目標人口に設定します。

平成 52 年の圏域人口 486,000 人

(参考) 圏域市町の人口ビジョンの目標値等

単位:人

市町名	呉市	竹原市	東広島市	江田島市	海田町	熊野町
将来目標人口 (H52)	183,597	19,511	200,732	13,800	28,316	20,400
市町名	坂町	大崎上島町				
将来目標人口 (H52)	13,903	5,420				

注) 人口ビジョンの計画期間が平成 72 年までの竹原市、東広島市、海田町、熊野町、坂町及び大崎上島町については、同 52 年の推計人口を示す。

人口ビジョンの目標人口を総合計画の目標数値と同一にしている江田島市については、国立社会保障・人口問題研究所に準拠して行った独自推計の数値を示す。

3 将来像を実現するための市町の役割

(1) 連携中枢都市の役割

呉市は、連携中枢都市として連携市町との協力体制を築き、経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化に資する施策に主体となって取り組むとともに、生活関連機能サービスの向上に資する施策に連携市町と協力して取り組んでいくことにより、広島中央地域の連携中枢都市としての役割を果たします。

ア 圏域全体の経済成長のけん引

先人たちが築いてきたものづくり産業を基盤とし、圏域に集積する学術研究機関との連携を図りながら、新製品・新技術の開発、医工連携の推進など圏域経済の活性化を推進するとともに、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）を中心とした観光資源の更なる魅力向上とネットワーク化などに取り組みます。

イ 高次の都市機能の集積・強化

高度医療機関が集積する圏域の特長を生かし、ハイレベルな救急医療機能を確保していくとともに、市町間を連絡する幹線道路や公共交通のネットワーク機能の維持・強化に取り組みます。

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

高齢化率が高い圏域の特性を踏まえ、健康づくりや高齢者の自立支援の推進などに取り組みます。また、圏域住民の交流や圏域の将来を担う人材の育成、農水産品のブランド化・販路拡大などに取り組みます。更には、持続可能な行政サービスを目指し、公共施設の相互利用や事務の共同処理・合理化等を推進します。

(2) 連携市町の役割

連携市町は、呉市と協力して、経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び生活関連機能サービスの向上に資する施策に取り組みます。

ア 圏域全体の経済成長のけん引

圏域経済の活性化に向け、呉市と協力して新製品・新技術の開発、医工連携の推進、観光資源の更なる魅力向上とネットワーク化などに取り組みます。

特に新製品・新技術の開発、医工連携の推進の施策については、産業支援施設等が集積する東広島市と呉市が中心となり、製造業の立地が多い竹原市、海田町、熊野町と連携して取り組みます。

また、観光資源の更なる魅力向上とネットワーク化については、竹原市（町並み保存地区）、東広島市（西条酒蔵通り）、江田島市（海上自衛隊第1術科学校）及び熊野町（筆の里工房）が呉市とともに中心的な役割を果たしながら圏域内の周遊促進に取り組みます。

イ 高次の都市機能の集積・強化

呉市と協力して、圏域の救急医療機能の確保に取り組むとともに、幹線道路・公共交通のネットワーク機能の維持・強化に取り組みます。

特に幹線道路ネットワークの骨格を成す高規格幹線道路（山陽自動車道、東広島・呉自動車道）、地域高規格道路（広島呉道路）を有する呉市、東広島市及び坂町が連携を密にしながら、ネットワーク機能の維持・強化に主体的に取り組みます。

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

呉市と協力して、健康づくりや高齢者の自立支援の推進、圏域住民の交流や圏域の将来を担う人材の育成、農水産品のブランド化・販路拡大、公共施設の相互利用や事務の共同処理・合理化などに取り組みます。

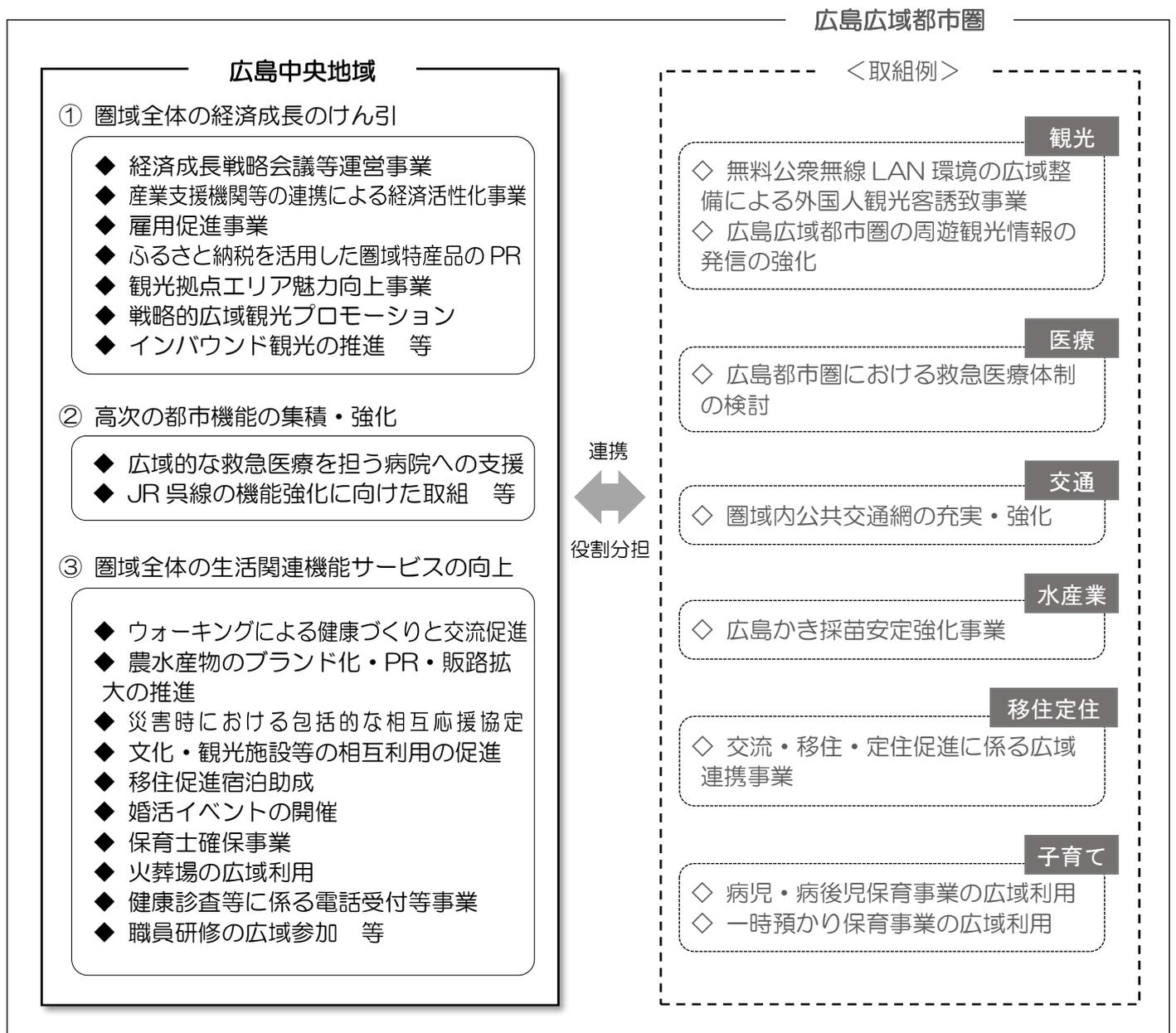
特に、農水産品のブランド化・販路拡大の取組については、農業分野では生産額で高い割合を占める東広島市、オリーブやレモンのブランド化に先進的に取り組んでいる江田島市、大崎上島町が、また、水産部門では漁獲量及びかき類（殻付き）収獲量の多い江田島市がそれぞれ呉市とともに中心的な役割を担います。

4 広島広域都市圏事業との連携・役割分担

本圏域において取り組んでいく圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上の施策については、広島広域都市圏で取り組んでいる施策・分野と合わせて実施することにより相乗効果が期待できる施策について連携を、すみ分けを行うものについては役割分担を図っていきます。

例えば、広島広域都市圏で進めている Wifi 環境整備の「無料公衆無線 LAN 環境の広域整備による外国人観光客誘致事業」と連携し、本圏域の観光案内板やホームページの多言語化などインバウンド受入環境を整備することにより、外国人観光客の誘客を図ります。また、かきの生産性向上のために実施している「広島かき採苗安定強化事業」や子育て支援に関する「病児・病後児保育事業の広域利用」「一時預かり保育の広域利用」などの事業は、広島広域都市圏で実施又は実施を予定しているため、本圏域では実施しないこととしています。

図表 3-1 広島広域都市圏事業との連携・役割分担のイメージ



5 施策体系図

「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現」

三つの圏域づくり

◆ 活力があり、働きやすい 圏域づくり

～圏域全体の経済成長のけん引～

- ### 基本方針
- ◇ 圏域の特長であるものづくり産業の集積や学術研究機関の集積を生かし、新製品・新技術の開発、医工連携の推進、中小企業への支援、特産品のPR等を行うことにより、地域経済の活性化を図ります。
 - ◇ 観光資源の更なる魅力向上と観光資源のネットワーク化を図ることにより、圏域の観光客の増加と周遊性の向上を図ります。

◆ 安心・安全で、便利な 圏域づくり

～高次の都市機能の集積・強化～

- ◇ 高度医療機関が集積する圏域の特長を生かし、ハイレベルな救急医療機能を確保していきます。
- ◇ 幹線道路や公共交通のネットワーク機能を維持・強化していくことにより、市町相互の連携を強化し、利便性の高いコンパクトな圏域を形成していきます。

◆ 誰もが暮らしやすい 圏域づくり

～圏域全体の生活関連機能サービスの向上～

- ◇ 高齢化率が高い圏域の特性を踏まえ、健康づくりや高齢者の自立支援の推進など高齢者が元気で活躍できる地域社会の実現を目指していきます。
- ◇ 圏域住民同士の交流や圏域の将来を担う人材の育成を推進していきます。
- ◇ 公共施設の相互利用や事務の共同化・合理化等を推進することにより、持続可能な行政サービスの実現を目指していきます。

基本施策

具体的な取組

(1) 産業振興プロジェクト

- ①経済成長戦略会議等運営事業
- ②産業支援機関等の連携による経済活性化事業
- ③雇用促進事業
- ④医工連携の推進
- ⑤まるごとにつぼんブース等による特産品販売・PR
- ⑥ふるさと納税を活用した圏域特産品のPR

(2) 観光振興プロジェクト

- ①観光拠点エリア魅力向上事業
- ②戦略的広域観光プロモーション
- ③インバウンド観光の推進

(1) 医療体制維持・充実プロジェクト

- ①広域的な救急医療を担う病院への支援

(2) 交通ネットワーク機能強化プロジェクト

- ①幹線道路の整備促進
- ②JR呉線の機能強化に向けた取組

(1) 長寿・健康づくりプロジェクト

- ①ウォーキングによる健康づくりと交流促進
- ②スポーツ施設の相互利用，スポーツ情報の発信

(2) 地域振興プロジェクト

- ①農水産物のブランド化・PR・販路拡大の推進
- ②公共交通の維持・確保に向けた検討

(3) 安心まちづくりプロジェクト

- ①災害時における包括的な相互応援協定

(4) 交流促進プロジェクト

- ①文化・観光施設等の相互利用の促進
- ②圏域まちづくり大学の開催
- ③移住促進宿泊助成
- ④婚活イベントの開催
- ⑤圏域版イクボス・イクメンプロジェクト
- ⑥圏域情報誌の発行

(5) 次世代人材育成プロジェクト

- ①保育士確保事業
- ②大学等と医療・福祉法人等による奨学金制度の検討

(6) 行政サービス機能向上プロジェクト

- ①火葬場の広域利用
- ②公共施設の相互利用等の検討
- ③健康診査等に係る電話受付等事業
- ④事務の共同化・広域連携
- ⑤職員研修の広域参加

第4章 将来像の実現に向けた具体的取組

圏域の将来像の実現に向けて、次の取組を関係市町と連携して実施します。

- ※ 事業費の欄には、呉市と連携市町との事業費の合計額を記載しています。
- ※ 事業費のうち、現時点で算出が困難なものについては、「—————」で記載しています。
- ※ 事業費は、都市圏ビジョン策定時の見込額です。今後、必要に応じて適宜見直しを行います。

1 圏域全体の経済成長のけん引

(1) 産業振興プロジェクト

連携協約の内容	地域経済の活性化を図るため、圏域の特長であるものづくり産業の集積や学術研究機関の集積を生かし、新製品・新技術の開発、医工連携の推進、中小企業への支援、特産品のPR等に取り組む。					
事業名	経済成長戦略会議等運営事業					
事業概要	●産学金官民で構成する経済成長戦略会議を設置し、多方面からの意見を聴きながら、圏域全体の経済成長をけん引する有効な施策を検討していく。					
効果	産学金官民が連携して広島中央地域の持続的な経済成長を推進することができる。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	304	304	304	304	304	1,520
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・経済成長戦略会議の事務局として運営に当たる。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市が実施する経済成長戦略会議の運営に協力する。 				

事業名		産業支援機関等の連携による経済活性化事業					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ●（公財）くれ産業振興センターの事業対象範囲を圏域全体へ拡大していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター等による相談事業，橋渡し ・セミナー，講演会の開催 ・ビジネスマッチングくれ事業 ・情報発信事業（FAX，メール，パンフレット等）等 ●圏域内の事業者間による異業種交流の推進，ビジネスマッチング及び相談，アドバイス等の事業を展開することで，新たな事業や新製品開発等に取り組む。 					
効果		圏域内の中小企業への支援による圏域経済の裾野の拡大					
連携市町		全市町					
事業費 （千円）		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		80,200	80,200	80,200	80,200	80,200	401,000
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・（公財）くれ産業振興センターが行う事業を支援する。 ・必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・（公財）くれ産業振興センターが行う事業に連携して取り組む。（各市町研究機関・企業・大学等との調整，広報など） ・必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名		雇用促進事業					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域全体を対象とした各種セミナーの開催や就職ガイダンスへの出展支援等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種セミナーの開催 ・ 就職ガイダンスへの出展支援 ● 圏域市町で取り組んでいる雇用促進事業の情報を共有し、情報発信できる仕組みを検討していく。 					
効果		圏域内企業への就労による定住促進					
連携市町		全市町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		0	13,285	13,285	13,285	13,285	53,140
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種セミナーを開催するほか、企業の就職ガイダンス出展への支援等を行う。 ・ 必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業に対して、各種セミナーや就職ガイダンスへの参加を呼び掛ける。 ・ 必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名		医工連携の推進					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域全体で医工連携の取組を推進するため、圏域内の事業者を対象とした研修会や講習会を開催するほか、圏域市町における医工連携の取組を圏域内で共有し、情報交換を行う。 ● 医療機関や福祉施設等のニーズを調査していくとともに、(公財)くれ産業振興センターを中心とした医工連携製品開発の事業支援等を行う。 					
効果		ものづくり産業と高度医療機関の集積を生かした新分野・新産業の育成による圏域経済の活性化					
連携市町		全市町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		0	—————→				
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関を始め、連携市町と連絡、調整を行いながら、具体的な施策の協議・検討をし、実施する。 ・ 必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市とともに具体的な施策の協議・検討をし、実施する。 ・ 必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名		まるごとっぽんブース等による特産品販売・PR					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ●「まるごとっぽん」の「おすすめふるさと」ブース等に広島中央圏域で出展したり、同館で開催されるイベントに共同で参加したりすることで、かきやかんきつ類、地酒、筆などの圏域特産品の販売やPRを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ブースでの特産品の販売・PR、パンフレットの設置 ・館内（3階）でのプロモーション動画の上映 ・同館で開催されるイベントへの参加 等 					
効果		首都圏等における圏域の魅力発信による認知の拡大					
連携市町		全市町					
事業費（千円）		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		6,312	6,312	6,312	6,312	6,312	31,560
役割分担・費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・出展について、主体となって調整・検討する。 ・必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・出展について、呉市と協力して調整・検討する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名		ふるさと納税を活用した圏域特産品のPR					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ●圏域市町の特産品から2品を選べる「連携中枢都市圏セレクトコース」を新たに設け、圏域の魅力発信を図る。 ●圏域内の観光地を巡り、宿泊する観光ツアー等、新たな取組について継続して検討する。 					
効果		圏域特産品の認知の拡大					
連携市町		全市町					
事業費（千円）		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		0	0	0	0	0	0
役割分担・費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町と連携し、ふるさと納税を活用した圏域の魅力発信に取り組む。 ・必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町と連携し、ふるさと納税を活用した圏域の魅力発信に取り組む。 ・必要に応じて費用負担を行う。 					

(2) 観光振興プロジェクト

連携協約の内容	圏域の観光客の増加と周遊性の向上を図るため、観光資源の更なる魅力向上と観光資源のネットワーク化、広域的な誘客に取り組む。
---------	--

事業名	観光拠点エリア魅力向上事業					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●呉市海事歴史科学館を中心とした呉市宝町周辺地区の観光拠点としての魅力向上を図ることにより、更なる観光客の誘客に取り組んでいく。 ●くれ観光情報プラザにおける圏域の観光・イベント情報の発信、瀬戸内海を生かしたクルージングルートや観光地を巡るツアーの造成等、圏域の観光資源のネットワーク化に取り組むことにより、呉市宝町周辺地区に訪れる観光客を圏域全体への周遊へつなげていく。 					
効果	観光拠点エリアの魅力向上及び観光資源のネットワーク化による観光客数の増加と周遊性の向上					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	2,712	—————→				
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を主体となって実施する。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・観光・イベント情報を呉市へ提供するとともに、観光資源のネットワーク化の検討を行う。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名	戦略的広域観光プロモーション					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●圏域全体の認知度向上を図るため、圏域の魅力ある観光資源を発掘・発信するとともに、首都圏等における観光キャラバンや広域連携イベントを開催することにより圏域の魅力をPRしていく。 ●また、圏域内の観光客の流れや消費動向等を調査することにより、将来的な圏域の観光振興施策について研究していく。 					
効果	圏域情報の発信による認知度向上、観光客の増加による経済効果					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	7,365	—————→				
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の観光客の流れや消費動向等を調査するとともに、圏域全体の観光プロモーション事業を実施する。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市が行う圏域内の観光客の流れや消費動向等調査に協力するとともに、呉市が実施する圏域全体の観光プロモーション事業に協力する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名	インバウンド観光の推進					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人観光客の誘致を図るため、圏域の魅力ある観光資源の発掘・発信をするとともに、受入環境の整備に取り組む。 ・国際観光展等への出展 ・圏域情報を掲載したパンフレットの作成 ・圏域案内看板の多言語化 ・圏域市町の多言語化観光ホームページへリンクしたタッチパネルの導入 等 					
効果	外国人観光客の増加による経済効果					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	11,020				→	
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を主体となって実施する。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の推進に協力する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

2 高次の都市機能の集積・強化

(1) 医療体制維持・充実プロジェクト

連携協約の内容	高度医療機関が集積する圏域の特長を生かし、ハイレベルな救急医療機能の確保などに取り組む。
---------	--

事業名	広域的な救急医療を担う病院への支援					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域的な救急医療を担う病院に対して、呉二次保健医療圏に属する呉市及び江田島市が補助金を拠出することにより、圏域の救急医療機能を確保していく。 ● 圏域全体の救急医療機能（一次救急を含む。）の強化に向けて、圏域市町が連携して取り組んでいく。 					
効果	圏域の救急医療機能の確保					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	77,790	77,790	77,612	77,612	77,612	388,416
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域の救急医療の確保に向けた施策に主体となって取り組む。 ・ 必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市が取り組む圏域の救急医療の確保に向けた施策に協力する。 ・ 必要に応じて費用負担を行う。 				

(2) 交通ネットワーク機能強化プロジェクト

連携協約の内容	利便性の高いコンパクトな圏域を形成するため、幹線道路や公共交通のネットワーク機能の維持・強化に取り組む。
---------	--

事業名	幹線道路の整備促進					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島県中央地域振興対策協議会や各道路建設促進期成同盟会の要望活動等を通じて、次の幹線道路の整備を促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道2号東広島・安芸バイパス ・ 国道185号（休山新道4車線化，安芸津バイパス等） ・ 東広島・呉自動車道（阿賀インターチェンジ立体化） ・ 国道432号竹原バイパス ・ 国道487号（津久茂架橋（仮称），南伸ルート等） ・ 主要地方道矢野安浦線 ・ 主要地方道呉平谷線 ・ 主要地方道呉環状線（警固屋工区・阿賀南工区） ・ 主要地方道音戸倉橋線 ・ 安芸灘8号橋 など ● 道路建設促進期成同盟会等の要望活動を行う上で必要となる現況調査や概略検討，PR資料の作成等を必要に応じて同盟会等の活動の中で実施していくことを検討していく。 					
効果	幹線道路の整備促進と未着手事業の早期事業化の推進					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	3,257	4,857	3,257	3,257	3,257	17,885
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町と協力して幹線道路の整備促進に向けた取組を行う。 ・ 必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市と協力して幹線道路の整備促進に向けた取組を行う。 ・ 必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名	JR呉線の機能強化に向けた取組					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● JR呉線複線化等期成同盟会等の活動を通じて、JR呉線の利用促進等に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実態調査（各市町の駅・港等におけるアンケート調査等の実施） ・ 関係機関への要望 ・ JR等と連携した利用促進イベントの実施検討 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR呉線の機能強化による利便性・安全性の向上 ・ JR呉線沿線地域の振興 					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	1,224	4,140	1,224	1,224	4,140	11,952
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町と協力して利用促進策等を実施する。 ・ 必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市と協力して利用促進策等を実施する。 ・ 必要に応じて費用負担を行う。 				

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

(1) 長寿・健康づくりプロジェクト

連携協約の内容	高齢者が元気で活躍できる地域社会を実現するため、高齢化率が高い圏域の特性を踏まえ、健康づくりや高齢者の自立支援の推進などに取り組む。					
事業名	ウォーキングによる健康づくりと交流促進					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各市町で実施しているウォーキング大会やノルディックウォーキング大会、各市町が設定しているウォーキングコース等を相互にPRすることにより、自市町以外の住民の参加・利用を促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域市町のホームページ等による相互PR ・パンフレットの相互設置及び配布 ●将来的には圏域をまたぐウォーキング大会の開催を検討していく。 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域住民のウォーキング参加機会の拡大による健康づくりと交流の促進 ・自市町以外の大会への参加やウォーキングコースの利用により、圏域の魅力を再発見するなど圏域住民間での魅力の共有 					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	300	1,000	1,000	1,000	1,000	4,300
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町と協力して情報発信・交流促進に取り組む。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市及び各市町と協力して情報発信・交流促進に取り組む。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名		スポーツ施設の相互利用，スポーツ情報の発信					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ●圏域内のスポーツ施設の相互利用（スポーツ大会等の団体利用に限らず，個人利用を含む。）を推進する。 ●圏域内のスポーツ施設情報やスポーツ大会，健康づくりを目的としたイベント情報等を共有し情報発信していくことにより，スポーツを通じた圏域住民の交流促進とスポーツ振興を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設内へのポスター・パンフレットの掲示 ・ホームページによる情報発信 					
効果		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の相互利用により利用者の選択肢が広がるなどの住民サービスの向上 ・圏域住民の健康づくりと交流拡大によるスポーツ振興 					
連携市町		全市町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		0	—————→				
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の相互利用，スポーツ情報の相互発信に向けた調査・研究に取り組むとともに，総合調整を行う。 ・必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の相互利用，スポーツ情報の相互発信に向けた調査・研究，総合調整に協力する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 					

(2) 地域振興プロジェクト

連携協約の内容	圏域の農水産物の更なる魅力の向上及び課題の解消を図るため、農水産物のブランド化・PR・販路拡大に取り組むとともに、地域住民の移動手段を確保するため、地域公共交通の利用促進などに取り組む。
---------	---

事業名	農水産物のブランド化・PR・販路拡大の推進					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●連携市町が共同で各種事業を実施することで、圏域農水産物の魅力をより一層高めて販路を拡大するとともに、単独では解決しづらい課題の解消に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域農水産物のブランド化の推進 ・圏域農水産物を組み合わせた加工品の開発 ・共同PR・販路開拓活動の実施 ・有害鳥獣対策についての情報交換・協力 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農・漁業者の所得向上による担い手の確保・育成及び栽培面積の拡大による遊休農地の解消 ・圏域農水産物を組み合わせることによる魅力アップ ・共同取組による販路拡大の可能性アップ ・効果的な有害鳥獣対策による安定的な生産量の確保 					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	0	—————→				
役割分担・費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の農水産物のブランド化・PR・販路拡大の推進に主体となって取り組む。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の農水産物のブランド化・PR・販路拡大の推進に協力して取り組む。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名	公共交通の維持・確保に向けた検討					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●生活航路や生活バス等について、現状・課題等を情報共有し、利用促進策や路線維持に向けた取組を検討する。 ●地域生活交通を「乗って守る」ことの大切さについて、住民に向けた啓発活動等の実施を検討する。 					
効果	地域生活交通の確保による地域住民の移動手段の確保					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	0	—————→				
役割分担・費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を推進する会議等を開催するほか、各市町と連携して啓発活動等の実施を検討する。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を推進する会議に参加し、呉市と連携して啓発活動等の実施を検討する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

(3) 安心まちづくりプロジェクト

連携協約の内容		圏域全体の防災力を高めるため、災害時の包括的な相互応援体制の強化に取り組む。					
事業名		災害時における包括的な相互応援協定					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域市町と災害時の相互応援に関する協定の締結（「県内市町の災害時の相互応援に関する協定」による県の調整等の前に、圏域市町に協力を行うことができる。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災意識の啓発のための防災教育及び防災研修の情報共有 ・ 食料、飲料水及び生活必需品並びにその供給に必要な資機材の提供 ・ 救護及び救助活動に必要な車両等の提供等 					
効果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域全体の防災体制の強化 ・ 災害時の迅速な物資輸送等が可能 					
連携市町		全市町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		4,400	2,203	2,203	2,203	2,203	13,212
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の包括的な相互応援協定の締結に向け、主体となって取り組む。 ・ 必要な費用負担を行うが、災害時の応援費用については、原則、応援を受けた市町が負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の包括的な相互応援協定の締結に向け、協力して取り組む。 ・ 必要に応じて費用負担を行うが、災害時の応援費用については、原則、応援を受けた市町が負担を行う。 					

(4) 交流促進プロジェクト

連携協約の内容	圏域の一体感の醸成を推進するため、圏域の住民同士の交流、圏域への移住促進、結婚・出産・子育ての応援に取り組む。
---------	---

事業名	文化・観光施設等の相互利用の促進					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●圏域内に所在する文化・観光施設等（美術館・博物館など）の入館料の減免基準を圏域内住民に適用することにより、利用推進を目指し、圏域内住民の文化芸術の振興に寄与するとともに交流人口の増加を目指す。 【減免基準】 ・圏域在住の小・中学生及び高校生等の入館料を無料とする。 【主な対象施設】 ・大和ミュージアム，入船山記念館，呉市立美術館，蘭島閣美術館，蘭島閣美術館別館，松濤園，白雪楼，三之瀬御本陣芸術文化館，昆虫の家「頑愚庵」，筆の里工房 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術・歴史等を媒体とした圏域住民の交流促進と圏域の文化芸術の振興 					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	300	300	300	300	300	1,500
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・文化観光施設等の相互利用の促進に向けた調査・研究に取り組み，市町間の調整を行う。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の文化観光施設等の利用の促進に向けた調査・研究に参加するほか，市町間の調整に協力して取り組む。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名	圏域まちづくり大学の開催					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各市町の行政施策やまちづくり団体等の取組について，その背景，内容，実施のメリットや課題等を公開し，他地域での活用や今後の圏域間連携の可能性を模索する。 ・学識経験者をコーディネーターとし，取組事例に対する分析と評価，意見を求める。 ・講義の様子を録画し，YouTube等で公開するなど，住民がいつでも閲覧できる環境を整える。 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体が相互に刺激を受けることによるまちづくり活動の活性化と交流の促進 					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	424	424	424	424	424	2,120
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域まちづくり大学の開催に主体となって取り組む。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域まちづくり大学の開催に協力する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名		移住促進宿泊助成					
事業概要		●広島県が実施している移住希望者の事前調査に係る「片道交通費支援制度」と連携し、圏域に宿泊する者に対して宿泊費を上乗せ支援することにより、広島中央地域の訪問機会を増加させ、移住定住につなげていく。					
効果		圏域への訪問機会を増加させることによる移住者の増加					
連携市町		東広島市，江田島市，熊野町，坂町，大崎上島町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		400	300	300	300	300	1,600
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> 圏域内市町の交流・移住・定住の促進を図る取組の検討・実施に係る調整・取りまとめを行う。 必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 呉市が取り組む圏域内市町の交流・移住・定住の促進を図る取組の検討・実施に係る調整・取りまとめに協力する。 必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名		婚活イベントの開催					
事業概要		●圏域内の市町が取り組んでいる婚活イベントを相互にPRするとともに、テレビ番組誘致も視野に入れた共同での婚活イベントを開催する。					
効果		<ul style="list-style-type: none"> 結婚支援の充実による婚姻率の向上 出生数の増加 					
連携市町		竹原市，東広島市，江田島市，海田町，熊野町，大崎上島町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		539	15,545	1,045	1,045	45	18,219
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> 連携市町と協力して圏域の婚活イベントをPRする。 共同の婚活イベントの企画・運営をする事業者の公募・選定を行う。 テレビのお見合い番組を誘致する。 必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 圏域の婚活イベントをPRする。 共同の婚活イベント開催等を支援する。 必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名	圏域版イクボス・イクメンプロジェクト					
事業概要	●圏域の「イクボス同盟ひろしま」のメンバーなどを取材し、これらをリレートーク形式でまとめた冊子を発行し、圏域内の市町で配布する。					
効果	中小企業、各種団体を含め圏域全体で男性の子育て参加に対する理解の拡大					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	0	0	841	0	0	841
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> イクボス等取材した冊子を作成する。 必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 圏域内のイクボス等との連絡調整を行う。 必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名	圏域情報誌の発行					
事業概要	●圏域のイベント情報や特産品、文化・観光情報等を取りまとめた情報誌を発行し、ひろしま夢ぶらざや圏域内の主要駅、公共施設等に配置する。					
効果	圏域全体の一体感の醸成や圏域内住民の交流促進及び圏域外への情報発信					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	11,500
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> 各市町と協力して情報誌の作成、発行に主体的に取り組む。 必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 呉市及び各市町と協力して情報誌の作成、発行に取り組む。 必要に応じて費用負担を行う。 				

(5) 次世代人材育成プロジェクト

連携協約の内容	圏域の「人づくり」を推進するため、圏域の将来を担う人材の育成・確保に取り組む。
---------	---

事業名	保育士確保事業					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●圏域で不足している保育人材を確保するため、呉市が実施する「保育士確保事業」の対象を圏域全体へ拡大し、有資格者の復職を支援する。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナー（大学等教育機関と連携し、講座を開催） ・実施指導（保育施設等と連携した保育現場での研修） <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育資格を有し、保育所への再就職を希望する者 ・保育資格を有し、保育士としての勤務経験のない者 					
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・働く希望を持つ女性の復職の推進（即戦力となる保育士の確保） ・就業先を圏域全体に拡大し、求職求人ニーズに対応 ・保育士の確保による子育て環境の充実 ・潜在保育士が再就職するためのきっかけづくり（後押し） ・再就職希望者への保育現場の最新情報の提供 					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	300	300	300	300	300	1,500
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士確保事業に必要な研修等を開催する。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の開催に協力するとともに、再就職先の情報を収集する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名	大学等と医療・福祉法人等による奨学金制度の検討					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●圏域の医療・福祉法人が卒業後の圏域内の同法人事業所への就職を条件として、学生へ奨学金を抛出し、就職して一定期間を経過すれば奨学金返済を免除する制度を検討する（市町は免除した奨学金の半額を目途に医療・福祉法人に助成）。 					
効果	医療福祉人材の確保と若者の地元定着による人口減少の歯止め					
連携市町	江田島市，熊野町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	0	0	4,000	6,000	6,000	16,000
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市の医療・福祉法人等と協議・調整を行う。 ・各市町の取組情報を集約し情報発信を行うとともに、取組情報を各市町が共有するための情報交換の場を設ける。 ・必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の医療・福祉法人等と協議・調整を行う。 ・呉市へ情報提供を行うとともに、情報交換の場に参加する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 				

(6) 行政サービス機能向上プロジェクト

連携協約の内容	持続可能な行政サービスを実現するため、公共施設の相互利用や連携による事務の共同化・合理化に取り組む。
---------	--

事業名	火葬場の広域利用					
事業概要	●呉市内の火葬場について、圏域住民が使用する際の使用料を市内住民と同額まで引き下げることにより、圏域住民の生活関連機能サービスの向上を図る。					
効果	<ul style="list-style-type: none"> 圏域全体の住民サービスの向上 住民及び行政の葬祭費等の補助事務手続の軽減（葬祭費等補助を行っている市町） 					
連携市町	海田町，熊野町，坂町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	14,801	14,801	14,801	14,801	14,801	74,005
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> 圏域住民の火葬場使用料を市内住民と同額に引き下げる。 必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 制度の周知や広報に努める。 必要に応じて費用負担を行う。 				

※事業費は、呉市減収相当額。

事業名	公共施設の相互利用等の検討					
事業概要	●圏域内の公共施設の相互利用（ネットワーク化）を進めながら、サービス内容及び水準の適正化に向けた研究を行う。					
効果	公共施設の適正配置による財政負担の軽減と持続可能な行政サービスの確立					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
	0	—————→				
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設のサービス内容及び水準の適正化に向けた会議等を招集・運営する。 必要な費用負担を行う。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設のサービス内容及び水準の適正化に向けた会議等に参加する。 必要に応じて費用負担を行う。 				

事業名		健康診査等に係る電話受付等事業					
事業概要		●健康診査等の受付業務において、各市が連携して電話等による受付業務や受診勧奨業務を共同で実施し、住民が申し込みやすい環境を整える。					
効果		<ul style="list-style-type: none"> ・住民による申込みの利便性を向上させることによる受診者数の増加 ・事業実施による行政コストの削減と事務の軽減 					
連携市町		江田島市					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		438	13,500	10,500	10,500	10,500	45,438
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・電話受付事務等の業務委託に主体となって取り組む。 ・必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託の実施に協力するとともに、広報に努める。 ・必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名		事務の共同化・広域連携					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ●広島県が進めている行政事務の連携・補完の取組等と歩調を合わせ、次の事務について圏域市町で連携・補完する取組を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉法人監査 <ul style="list-style-type: none"> ・呉市の法人監査に他市町が同行、ノウハウを習得 ・複数市町による監査業務の共同化の検討 ○生活衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・呉市の立入検査に他市町が同行、ノウハウを習得 ・取組事例の情報共有等による体制整備の促進 ・専門人材を確保する仕組みづくりの検討 ○食品表示に関する事務 <ul style="list-style-type: none"> ・呉市の立入調査に他市町が同行、ノウハウを習得 ・取組事例の情報共有等による体制整備の促進 ●新たに事務の困難事例等が生じた場合は、必要に応じて連携市町で協議・検討を行う。 					
効果		<ul style="list-style-type: none"> ・困難事務等について円滑な事務の執行が可能 ・将来にわたり安定した行政サービスの提供が可能 					
連携市町		全市町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		0	0	0	0	0	0
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・実施困難な市町への支援（ノウハウを習得する場の確保） ・困難事務の円滑な実施等に向けて連携市町と連携して取り組む。 ・必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・困難事務の円滑な実施等に向けて呉市と連携して取り組む。 ・必要に応じて費用負担を行う。 					

事業名		職員研修の広域参加					
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域内市町の行政職員のスキルアップを図るため、呉市が実施する「課程外研修」への広域参加を推進する。 【具体例】 <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修 ・ブラッシュアップ研修（講演） など 					
効果		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上による住民サービスの向上 ・新たな人的ネットワークの構築や人材育成担当者との連携による内容の充実 ・他市町職員との交流による学習意欲の向上 					
連携市町		全市町					
事業費 (千円)		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
役割分担・ 費用負担等	呉市	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域職員のスキルアップを図る課程外研修を開催する。 ・必要な費用負担を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市が開催する課程外研修に協力・参加する。 ・必要に応じて費用負担を行う。 					

4 成果指標（KPI）

三つの圏域づくりを進めるための経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び生活関連機能サービスの向上のそれぞれの施策について進捗管理を行うとともに、有効性を検証するため施策区分ごとに成果指標（KPI：重要業績評価指標）を設定します。

区分	成果指標(KPI)		
	項目	基準値	目標値
活力があり、働きやすい圏域づくり ～圏域全体の経済成長のけん引～			
(1) 産業振興プロジェクト			
	経済成長戦略会議の設置	-	会議の設置
	圏域内の企業からの相談・橋渡し件数	H28年度:2,815件	H34年度:3,378件
	セミナー等への参加求職者(事業者)数	-	H34年度: 270人
	「おすすめふるさと」ブース売上高	H28年度:4,955千円	H34年度:5,946千円
(2) 観光振興プロジェクト			
	圏域の入込観光客数	H28年:618万人	H34年:680万人
	圏域の入込観光客数に占める外国人観光客数の割合	H28年: 1.6% (広島県 4.1%)	広島県の外国人観光客数の割合を上回る
	圏域の一人当たり観光消費額	H28年:4,285円	H34年:4,310円
安心・安全で、便利な圏域づくり ～高次の都市機能の集積・強化～			
(1) 医療体制維持・充実プロジェクト			
	呉市の4病院における圏域内救急医療事業患者数	H28年度:20,148人	H34年度:基準値を維持
(2) 交通ネットワーク機能強化プロジェクト			
	JR呉線乗車人員数	H28年度:12,682,594人	H34年度:基準値を維持
誰もが暮らしやすい圏域づくり ～圏域全体の生活関連機能サービスの向上～			
(1) 長寿・健康づくりプロジェクト			
	圏域市町を代表する8大ウォーキング大会参加者数	H28年度:4,511人	H34年度:4,962人
(2) 地域振興プロジェクト			
	圏域農水産物の新規取引開始店舗数(飲食店等)	-	H34年度:50件(累計)
(3) 安心まちづくりプロジェクト			
	相互応援協定の締結	-	協定の締結 (連携体制の確保)
(4) 交流促進プロジェクト			
	観光・文化施設入場者数(入船山記念館, 呉市美術館, 蘭島文化振興施設の合計)	H28年度:110,096人	H34年度:115,600人
	圏域まちづくり大学を受講して実施する新規事業又は既存事業の見直し件数	-	H34年度:8件
	移住希望者への宿泊助成者数	H28年度:17人	H34年度:34人
	共同婚活イベントでのカップル成立数	-	H34年度:35組(累計)
	圏域内のイクボス宣言企業数	H28年度:17社(累計)	H34年度:21社(累計)
(5) 次世代人材育成プロジェクト			
	奨学金利用者数	-	H34年度:10人(累計)
	保育士就職支援セミナー参加者の再就職率	H28年度:60%	H34年度:80%
(6) 行政サービス機能向上プロジェクト			
	公共施設の相互利用等に係る意見交換開催回数	-	1回/年開催
	困難事務の同行支援回数	-	H34年度:8回
	圏域市町の研修受講職員数	-	H34年度:25人

第5章 推進体制

本ビジョンの推進に当たっては、圏域市町の市長・町長で構成する「広島中央地域連携中枢都市圏協議会」において定期的な協議を行い、将来像の実現に向けた取組を着実に実施します。

また、産業、大学、金融機関、医療等各分野の代表者・有識者から成る「広島中央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会」の意見を踏まえながら、必要に応じて改定を行います。

なお、成果指標（KPI）の達成状況等を踏まえながら、PDCAサイクルにより各事業を推進します。

図表 5-1 推進体制のイメージ

